



あぐりとびっく  
Agri Topic

プランターで野菜作りを始めてみよう!

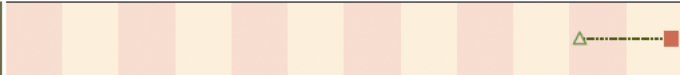


# 春 菊

1 栽培時期 △ 種まき ■ 収穫

作型  
露地栽培

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



## 2 準備するもの

- ◆種 ◆深さ15cm以上、横幅60cm以上あるプランター
- ◆培養土 ◆鉢底石 ◆牛フン堆肥 ◆苦土石灰 ◆手袋
- ◆化成肥料(窒素8 リン酸8 カリ8)か液肥

## 3 栽培のポイント

- ◆プランターの鉢底に鉢底石を敷き詰め、8割程度培養土を入れる。
- ◆元肥として、牛フン堆肥約500gと苦土石灰約500gを混合する。
- ◆深さ1cm程度の溝を10~15cm感覚で一条作り、1cm間隔で種を条まきする。
- ◆まいた後は薄く土をかぶせ、軽く抑える。
- ◆鉢底から流れ出るくらい、たっぷりと水を与える。

## 4 間引き

- ◆発芽後、本葉3枚ほどの時に混みあっている部分を間引きする。
- ◆葉が重ならないようにする。

## 5 追肥

- ◆葉の色が薄いようであれば、約500倍に薄めたトミー液肥を条間に施す。
- ◆化成肥料を与える場合は、間引きしてから2週間程経ってから野菜専用化成(窒素8 リン酸8 カリ8)を株元から少し離し、50~70g混合する。

## 6 病気・害虫対策

- ◆葉が白くなったり斑点ができるなど、病害が発生した場合は葉を抜き、再度植えることをおすすめする。または、葉の裏にヨトウムシなどの卵を見つけた場合は、アファーム乳剤100mlを2000倍に希釈したものを害虫の卵が付着している所に散布すると良い。(総使用回数は2回、収穫7日前まで使用可能)

## 7 収穫

- ◆草丈が20~30cmほどに伸びた頃が収穫の目安となる。収穫方法には「抜き取り型」と「摘み取り型」の二つがある。抜き取り型は株元をもって根ごと引き抜く方法。摘み取り型は下の葉を4~5枚残して切り取り、さらに摘芯するとわき芽が次々と伸びるため、その都度摘み取って収穫する。



春菊は乾燥に弱いので、水切れに注意が必要。プランター栽培では肥料不足にも気を付ける。気温が5℃を下回ると葉が傷むため、ビニールフィルムや不織布のベタ掛けで保温するのが望ましい。さらに、害虫対策として防虫ネットをかけて栽培すると良い。